

2021年4月28日
東京ガス株式会社

2020年度（2021年3月期）決算発表説明会

Q&A

Q 1 : Compass2030 および CO2 ネット・ゼロ実現のためのシナリオを再構築するためにも、財務戦略そのものを練り直さないといけないということだが、ビジョンと中計もセットで見直すということか。

A 1 : ビジョンまで見直すつもりはなく、基本的に 2030 年に 2,000 億円の利益水準を達成するという目標の旗をおろすつもりはない。しかしながら、2030 年の利益目標である 2,000 億円に向けた道筋については、ビジョン策定時からだいぶ変わっている。中計を見直すかについては、現時点では申し上げることはできないが、中計時に策定したキャッシュ配分については変えざるを得ないと考えている。20 年度は市場の大きなボラティリティの影響を受けたため厳しい決算となったが、それを除けば中計の見直しが必要な利益レベルではないため、作り直すことが前提ではない。冬季の電力卸市場価格の高騰など市場のボラティリティに対する対応、電力・海外事業等の利益成長の実現に向けた成長戦略、それに伴う財務戦略について議論をしていく。

Q 2 : J T 差の 20 年度実績と、21 年度の見通しについて教えてほしい。

A 2 : 20 年度実績について、昨年の夏頃は J T 差が悪化していたが、逆に 4 Q（1～3 月）においては大幅に J T 差が改善した。また、上昇した J L C の影響については、21 年度の収支見通しにプラスの影響を与えるものの、計画策定のスケジュールの関係で見通しには反映していない。

以上